



Dry - type clutch kit 取扱説明書

| 商品番号 | 適応車種及びフレーム番号 |
|-----------------------------|-------------------------|
| 02 - 02 - 0111 STDミッション車用 | Ape 50:AC16 - 1000001 ~ |
| 02 - 02 - 0131 当社製6速ミッション車用 | Ape100:HC07 - 1000001 ~ |

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

当製品は、他社製トランスミッションとの併用は出来ません。

当製品の取り付けには、エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。又、各車両の仕様に応じたガスケット、パッキン等が別途必要です。

雨天走行等でフリクションディスクに水がかかると、クラッチの滑りが生じクラッチが機能しなくなる可能性があります。雨天走行は出来る限り避け、やむを得ない場合は、水溜り等为避免フリクションディスクに水がかからないように心がけて下さい。

フリクションディスク等に水分が付着すると腐食し、クラッチの機能を果たさなくなります。雨天走行、洗車等の後には、フリクションディスク、クラッチプレート等に付着した水分を必ず拭き取り、十分に乾燥させて下さい。また、梅雨等の湿気の多い時期の保管は、フリクションディスク、クラッチプレート等の貼り付きを防ぐためクラッチを切って保管して下さい。

オイルクーラーを使用する場合、当社製ボアアップシリンダー（ ）または当社別売のオイルクーラー取り出し口（09 - 07 - 053 / 054 / 055）を使用することによりシリンダーサイド、またはR .クランクケースカバーからオイルラインを取り出すことが可能です。

シリンダー右側面にオイルライン取し穴を持つタイプに限り（写真）。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



~ 特 長 ~

- ・クラッチ部分が外部に有るため、冷却効果に優れ、オイルの抵抗を受けないのでクラッチの切れが向上します。又、クラッチディスクの磨耗、発熱等によるオイルの劣化を防止しエンジンに与える影響を低減させています。
- ・クラッチフリクションディスクを5枚にすることでハイパワーエンジンに対応し、クラッチセンター・クラッチプレッシャープレートのディスク当り面に鋳鉄を鋳込むことで従来必要だったクラッチプレートを省略出来軽量化を計っております。更にクラッチフリクションディスクにケブラーを配合することにより従来品に対して耐久性を向上。摩擦係数の増加によりすべりを低減させ、ジャダーの発生や接続時の音を低減させました。
- ・プライマリードリブンギヤにはダンパーを組み込みクラッチ接続時のショックの低減を図っております。
- ・ペーパータイプのオイルフィルターを採用しエンジンオイルのろ過性能を向上させ、オイル量点検用にオイル窓を採用しております。

⚠ 注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



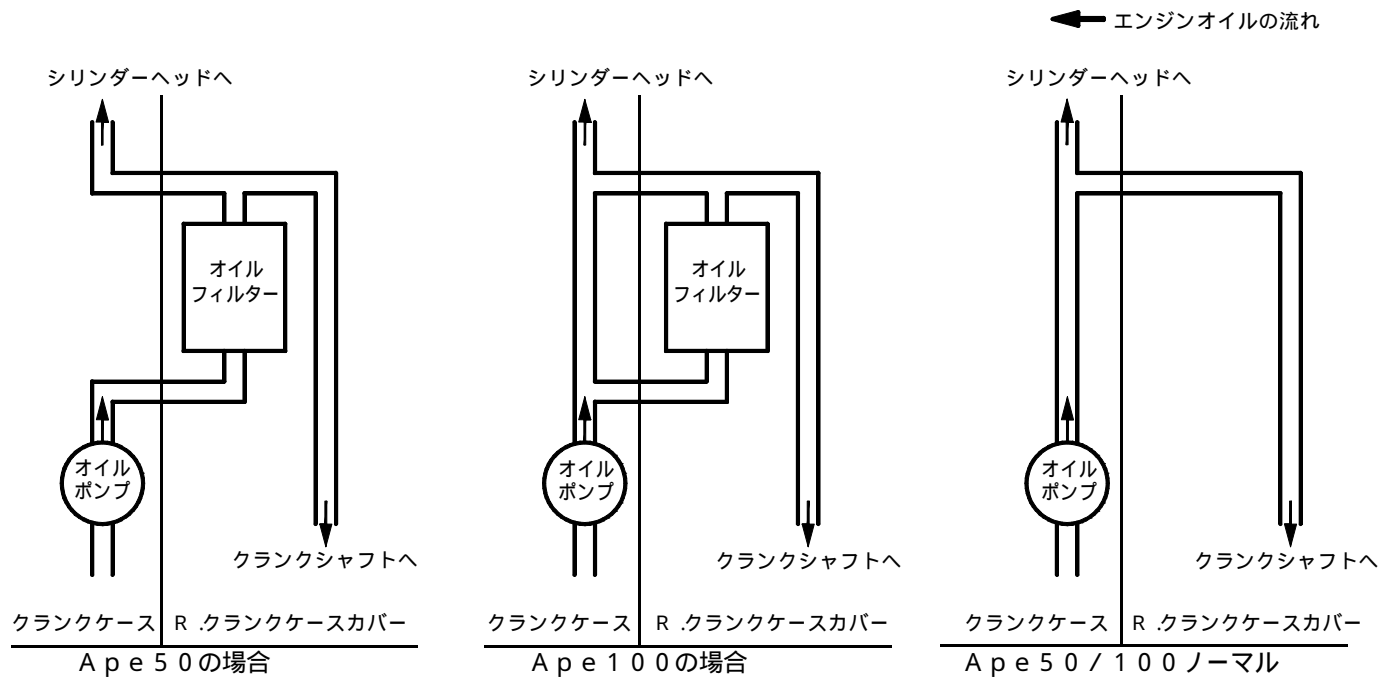
警告 下記内容を見逃した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒事故につながる恐れがあります。）
- ・乾式クラッチは、クラッチアウター等の回転部分がカバーの隙間から触れることができます。エンジン回転中は絶対に覗き込んだり、触れたりしないで下さい。又、乗車時は、足等を保護し、クラッチの回転部分に巻き込まれないような服装をして下さい。（転倒等の事故、ケガの原因となります。）
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

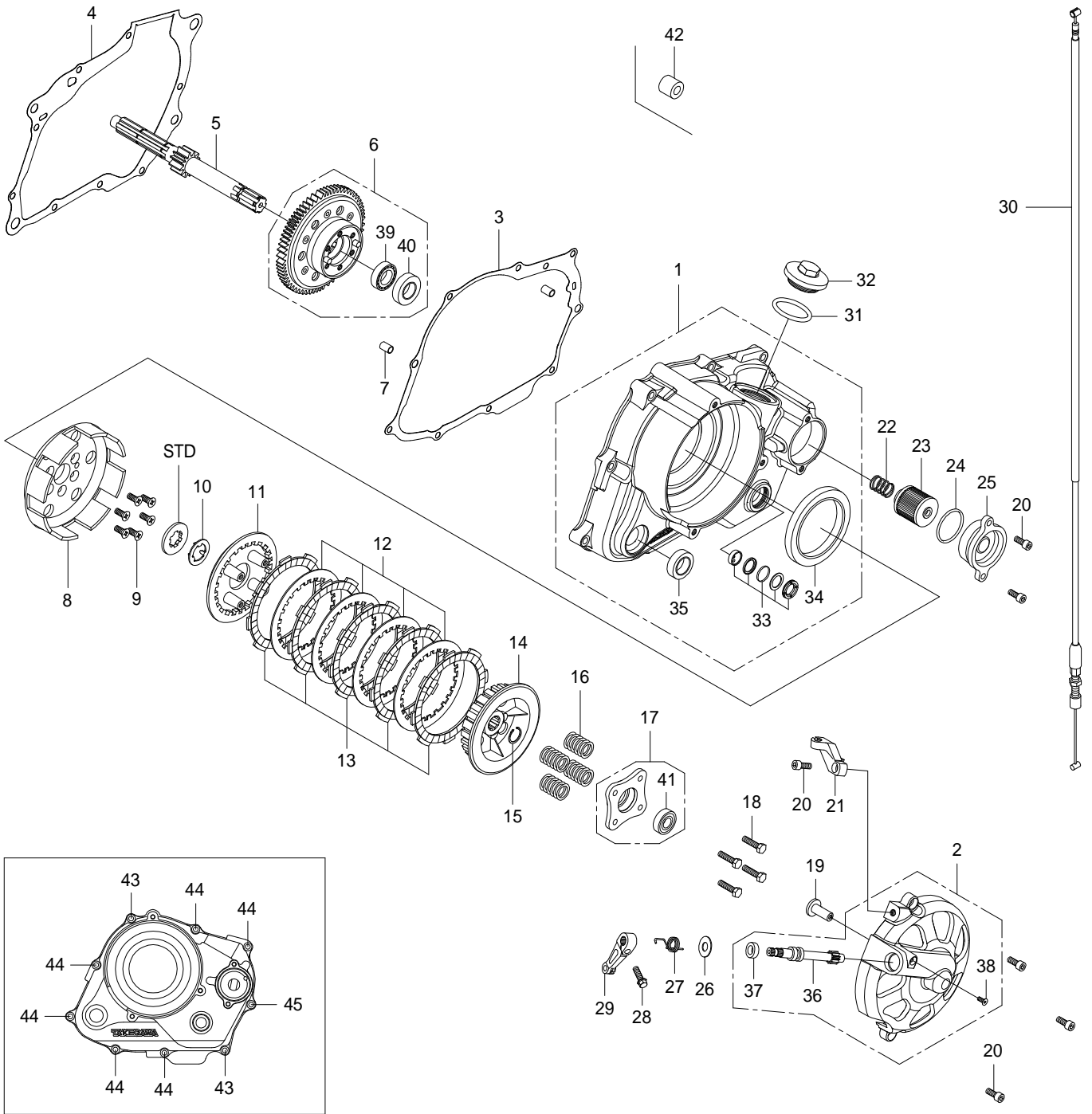
～ オイルラインに付いて～

Ape50に使用する場合、エンジンオイルは全量オイルフィルターを通り、シリンダーヘッドとクランクシャフトに供給されます。
Ape100に使用する場合、Ape50とクランクケースのオイルライン形状が異なる為、一部オイルフィルターを通りませんが、ノーマルと同じ状態になります。

オイルライン図



~ 商品内容 ~



| 番号 | 部品名 | 個数 | 番号 | 部品名 | 個数 | 番号 | 部品名 | 個数 |
|----|----------------------|----|----|---------------------|----|----|----------------------|----|
| 1 | R.クランクケースカバーCOMP. | 1 | 17 | クラッチリフタープレートCOMP. | 1 | 33 | オイルポットCOMP. | 1 |
| 2 | クラッチカバーCOMP. | 1 | 18 | フランジ6角ボルト 6×2.2 | 4 | 34 | オイルシール 60×80×8 | 1 |
| 3 | R.クランクケースカバーガスケット | 1 | 19 | クラッチリリースラック | 1 | 35 | オイルシール 18×29×7 | 1 |
| 4 | クランクケースガスケット | 1 | 20 | ソケットキャップスクリュー 6×1.5 | 6 | 36 | クラッチリリースピニオン | 1 |
| 5 | メインシャフト | 1 | 21 | クラッチケーブルレシーバー | 1 | 37 | オイルシール 10×17×5 | 1 |
| 6 | フライマードリブギヤCOMP.(71T) | 1 | 22 | オイルフィルタースプリング | 1 | 38 | フラットヘッドスクリュー 4×1.0 | 1 |
| 7 | ノックピン 8×1.4 | 2 | 23 | オイルフィルター | 1 | 39 | ラジアルボールベアリング 17×30×7 | 1 |
| 8 | クラッチアウター | 1 | 24 | Oリング | 1 | 40 | オイルシール 17×32×7 | 1 |
| 9 | フラットヘッドスクリュー 6×1.5 | 6 | 25 | オイルフィルターカバー | 1 | 41 | シールドベアリング | 1 |
| 10 | セットリング 17mm | 1 | 26 | ブレンワッシャ 10mm | 1 | 42 | R.リヤエンジンハンガーカラー | 1 |
| 11 | クラッチプレッシャープレート | 1 | 27 | アームスプリング | 1 | 43 | ソケットキャップスクリュー 6×4.0 | 2 |
| 12 | クラッチプレート | 4 | 28 | フランジボルト 6×1.8 | 1 | 44 | ソケットキャップスクリュー 6×8.0 | 6 |
| 13 | ケブラークラッチフリクションディスク | 5 | 29 | クラッチリリースアーム | 1 | 45 | ソケットキャップスクリュー 6×10.0 | 1 |
| 14 | クラッチセンター | 1 | 30 | クラッチケーブルCOMP. | 1 | 工具 | 6角棒スパナ 5mm | 1 |
| 15 | エキスターナルサークリップ | 1 | 31 | Oリング | 1 | | | |
| 16 | クラッチスプリング | 4 | 32 | ホールキャップ | 1 | | | |

～取 り 付 け 要 領～

セット内容をご確認下さい。

車両をメンテナンススタンド等でしっかりと安定させます。

(トランスミッション)

1. ホンダ純正サービスマニュアル(以下サービスマニュアル)を参考にエンジンを降ろします。
2. 取り外したエンジンを作業台等で安定させ、サービスマニュアルを参考にクランクケースを分解し、トランスミッションを取り出します。
3. ベアリングの軸方向のズレを防ぐ為クランクケースRのメインシャフト側ベアリング部分の周囲6ヶ所程度をセンタポンチでポンチングします。(ベアリング外周から約2mm程度外側の円周の対角線に行います。)



4. トランスミッションのメインシャフトをSTDからキット内の乾式用に交換します。
各ギヤの取り付け方向に注意して下さい。
5. トランスミッションをクランクケースに組み込み、クランクケースガスケットを新品に交換し、クランクケースを組み付けます。
6. クランクケースを分解するために外した部品をサービスマニュアルを参考にその手順に従って取り付けます。
この時トランスミッションメインシャフトに部品が付いていない状態にしておきます。

(プライマリードリブンギヤの組み付け)

プライマリードリブンギヤCOMPの歯面とボールベアリング部にエンジンオイルを、オイルシール部にグリスを塗布し、メインシャフトに差し込みます。
プライマリードリブンギヤCOMPに付いている粘着テープを剥がし、粘着あとをシンナー等で拭き取った後、薄くグリスを塗布して下さい。

(R.クランクケースカバー取り付け)

1. ケース合わせ面を脱脂し、キット付属のノックピン2本とR.クランクケースカバーガスケットをクランクケースに取り付けます。
2. R.クランクケースカバーCOMPの各オイルシールのリップ部にグリスを充填し、オイルシールを傷つけないようにメインシャフトに対してまっすぐにケースカバーを入れます。キャップスクリューでクランクケースに仮締めし、ケース中央から外側へと対角に指定トルクで締め付けます。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)
R.クランクケースカバーCOMPのオイルシールがめくれあがってしまう事がありますので、十分注意してケースを取り付けて下さい。

(クラッチ取り付け)

1. メインシャフト部にクラッチアウターを入れ、フラットヘッドスクリュー6×15で仮止めをした後に対角方向に指定トルクで締め付けます。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)
2. メインシャフト部にSTDのスプラインワッシャB、キット内のセッティング17mmの順に通します。
3. クラッチセンターにクラッチフリクションディスクを入れ、次にクラッチプレートの順で交互に取り付け、クラッチプレッシャープレートを取り付けます。
クラッチプレートに油分が残っていると滑りの原因となるので、よく脱脂して下さい。
クラッチセンターとクラッチプレッシャープレートがかみ合っている事を確認して下さい。
4. クラッチプレッシャープレートのボス部を持ち、クラッチフリクションディスクの突起部とクラッチアウターの溝を合わせ、同時にクラッチセンターとメインシャフトのスプラインを合わせて挿入します。
5. 付属のエキスターナルサークリップをメインシャフトの溝部に取り付けます。サークリップは、角の有る方を外側にして下さい。
エキスターナルサークリップは、必要以上に広げないで下さい。
エキスターナルサークリップがメインシャフトの溝部に入りにくい場合は、メインシャフトをニードルノーズプライヤー等で引っ張りながら作業を行って下さい。
6. クラッチプレッシャープレートのボス部分にクラッチスプリングを取り付けます。
7. クラッチリフタープレートのベアリング面を外側にしてフランジ6角ボルト6×22を取り付け、手でいっぱいまで締め付けます。
クラッチリフタープレートを手前に引っ張りフリクションディスクに隙間が出来るときは、クラッチセンターとクラッチプレッシャープレートの噛み合わせがずれていますので、クラッチリフタープレートを少しだけ左右に回転させクラッチセンターとクラッチプレッシャープレートを噛み合わせます。噛み合った状態で、クラッチリフタープレートを手前に引っ張りながらフランジ6角ボルト6×22を対角に徐々に締め付け、最後に指定トルクで締め付けます。
トルク：12N・m(1.2kgf・m)
クラッチスプリングがずれないように作業して下さい。

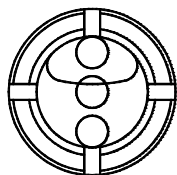
(クラッチケーブルの取り付け)

1. クランクケースを分解するために取り外した部品を、サービスマニュアルを参照しその手順に従って取り付け、エンジンをフレームに取り付けます。
エンジン取り付け時、STDのR.リヤエンジンハンガーカラー(クラッチケーブルガイド)をキット付属のR.リヤエンジンハンガーカラーに交換して取り付けして下さい。
2. クラッチカバーCOMPにクラッチケーブルレシーバーをソケットキャップスクリュー6×15で取り付け指定トルクで締め付けます。
3. クラッチカバーCOMP内側のクラッチレリーズラックが入っていることを確認し、R.クランクケースカバーにしっかりとめ込みソケットキャップスクリュー6×15で仮締めし、指定トルクで締め付けます。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)
クラッチレリーズラックにグリスを塗布して下さい。

4. クラッチレバーにクラッチケーブルエンドを取り付けます。
5. クラッチケーブルに無理がかからない様にレシーバー部分まで取り回します。
6. クラッチケーブルエンドに少量のグリスを塗布しクラッチリリースアームを入れます。
クラッチリリースアームの切り欠き部が車両後方に向くように取り付けて下さい。
7. クラッチケーブルのアジャスター部分をケーブルレシーバーに一杯までネジ込みます。
8. レリーズピニオンにクラッチアームスプリング、クラッチケーブルのインナーを引っ張った状態のリリースアームを取り付けてフランジボルト 6 × 18 を使用し指定トルクで締め付けます。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)
リリースアームはセレーション部分を合わせて取り付けて下さい。セレーション部分を合わせないで押し込むとリリースアームが破損し使えなくなります。
9. クラッチケーブルレシーバーのアジャスト部分でクラッチの遊びを調整しロックナットを指定トルクで締め付け、クラッチケーブルアジャスト部分のゴムキャップをそれぞれ被せます。
遊びは、クラッチレバー先端で 10 ~ 20 mm に調整して下さい。

(オイルフィルターの取り付け)

1. R. クランクケースカバーにオイルフィルタースプリングを入れ (ケースのボス部分にはまるようにして下さい。) オイルフィルターを入れ、オイルフィルターカバーをキャップスクリュー 6 × 15 を使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)
オイルフィルターがオイルフィルターカバーの突起部にささるようにして下さい。
オイルフィルタースプリングが、オイルフィルターの突起部内側に収まらないとオイルフィルターカバーと R. クランクケースカバー COMP. との間に隙間が生じます。
オイルフィルター交換時は、Oリングの当たり面およびオイルフィルターカバーのオイルを拭き取り Oリングに薄くグリスを塗布します。
2. エンジンを下ろすときに取り外した部品を、サービスマニュアルを参照しその手順に従って取り付けます。
3. ドレンボルト { **トルク：21.5 N・m (2.2 kgf・m)** } が締め付けてある事を確認した後、エンジンオイルを 1,100 cc 注入しホールキャップに Oリングを取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)
ホールキャップの Oリングに少量のエンジンオイルを塗布して下さい。
クランクケース分解作業を伴わない場合 (オイル交換時) は、エンジンオイルを 900 cc 注入して下さい。オイルフィルター交換時は、エンジンオイルを 1,000 cc 注入して下さい。
4. スパークプラグを外し、キックを数回踏み下ろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。



オイル窓での目安

(組み付け後の点検)

1. エンジン停止状態でトランスミッションを 1 速にシフトしクラッチレバーを握ります。車両を動かした際リヤホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリヤホイールが回転しないことを確認して下さい。
2. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>